

「素直な信仰を喜ばれる神様」

モーセは神様とイスラエルの民との間で契約を結び、律法を頂きました。しかし現実しか見えない民は、神様の計画や御思いが信じられず、自分の思い違うとつぶやき、頑なになっていったのです。モーセは神様に忠実でしたが、民の心は変えられませんでした。

律法は人を救うことができませんが、主イエスが十字架によって開いて下さった救いの道は、キリストに来る者の心をきよめ、私たちを信仰に歩む者に変えて下さいます。

今日の聖書の学びの要点

- ・主キリストの救いの道は素直に信じて従うなら、より大きく深い恵みに与る。

I、神の家に忠実なモーセ

1、十戒を頂いたモーセとイスラエルの民は荒野を通過して、カナンの地が見える所まで来ました。彼らはどうしたのでしょうか。

①民数記13：1――

②40日後、帰って来た12人の報告はどうでしたか？

・民数記13：27、30――

・民数記13：28、29、31～33――

2、12人の報告を聞いて、イスラエルの民はどうしたのでしょうか。

(民数記14：1～4)

3、モーセのとりなしで、怒りを収められた神様はどのように言われたでしょうか。(民数記14：22～38)

Ⅱ、御子として父なる神に、忠実であられるキリスト

1、モーセは頑ななイスラエルの民のために40年もの間、命がけで祈りました。モーセは何に忠実だったのでしょうか。(ヘブル3：2)

2、イエス・キリストは全てのものを造られた父なる神に忠実でした。全ての者を救うために主イエスは、何を、どのように成されたのでしょうか。

①十字架の意味…ヘブル2：9

②悪魔からに解放…ヘブル2：14～15

③全ての人の救い…ヘブル3：6～15

3、私たちクリスチャンに何を望んでおられるのでしょうか。

①ヘブル3：12…

②ヘブル3：13…

③ヘブル3：14…